

中山蒼二郎

なかやま そうじろう

ロシヤ文學者、詩人。明治二十七年一月、千八

百歳城縣生れ、昭和二十二年五月、千八百歳（一九四一四七）。筆名樵、省。

昭和四年早稻田大學文學部露文科卒。在學中丹羽文雄、火野葦平等と

同人誌『衝』、第二次『聖杯』發刊。

譯書『世界童話集』（共譯、昭和四年八月、二百ツルズ『日本兒童文

庫』）、ツルゲエホフ作『全譯散文詩』（昭和八年二月十八日、再刊。

ツルゲエホフ作『散文詩』十七年一月、千五百第一書房。同、二十

年四月、千台、再版特製、二十二年八月、千八百八雲書店）、同『獵人自

記』全二冊（上卷・昭和八年九月十日、下卷・九年四月、千二百、再刊

・ツルゲエホフ作『全譯獵人自記』十一年五月、千台第一書房。同・ツ

ルゲエホフ作『獵人自記』全二冊、上・十四年一月十日、中・八月、二

日、下・十五年、二月、千六百岩波書店『岩波文庫』）、ドストエフスキ

ー（ドストエフスキ）著『病中日記』（三版・昭和十一年七月、千

五百山本書店『山本文庫』）、シエストフ著『勝利と敗北』（ヘンリッ

ク・イプセンの生涯と藝術）』（昭和十二年一月、千台改造社『改造

文庫』）、ソログープ作『かくれんぼ・白い母他二篇』（昭和十二年

十一月、五百岩波書店『岩波文庫』）、『ツルゲエホフ篇』（譯著、昭

和十二年二月、千八百第一書房『世界文藝讀本全集』）、メレシエウ

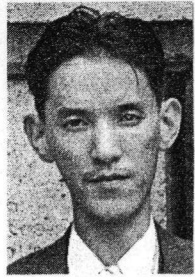
ナスキイ著『永遠の伴侶』全二冊（上卷・昭和十五年十月五日、下卷

・十六年五月、千台小山書店。再刊・メレシエウナスキイ著『永遠

の伴侶・イープウシキン附プウシキン小傳』（二十

一年十月、千台東京出版株式會社）、『ア・プロオウ詩

』千台（昭和二十一年四月、千台柏書店）、『プウ



シキン作「スペエドの女王」(昭和二十一年五月)「白柏書店」  
「露西亞

「亞短篇叢書」)、ドストイェフスキイ著

「ツルゲエネフへの書簡」(昭和二十二年)

年(二月一日青銅社)、<sup>プウシキン</sup>ツルゲエネフ作

「流浪の民」ロシア短篇珠玉集」(昭和

二十二年六月十五日京都・世界文學社

「世界文學叢書」)、<sup>同</sup>「ロシア短篇

ひびき」(昭和二十二年十一月)「白青

磁社)、<sup>プウシキン</sup>作「オネエギン」(昭和二十四年三月五日河出書

房)、ゴオブリ作「外套」(外一篇)」(昭和二十四年九月十五日春陽

堂「春陽堂文庫」)等。

編輯著書「獨逸新露西亞語」(ワルワーラ・バブノワ共著、昭和七年十

二月十五日春陽堂)、横瀬夜雨著「雪あかり」(編、昭和九年六月)一

十七日書物展望社)、<sup>同</sup>「ドストイェフスキイ」(編、昭和九年十一月

十日)「笠書房)、長塚節著「歌浮葉」(正副)二冊一帙(編・解説、昭和

十一年二月十日書物展望社)、<sup>同</sup>「文學讀本」春食秋冬」(編、昭和

十一年九月二十日第一書房)、火野葦平作「河豚」(解説、昭和十五

年八月二日新潮社「昭和名作選集」)、隨筆「海珠鈔」(昭和十五年

十月十五日改造社)、詩集「鏢鈔」(昭和十七年二月一日小山書店)、

「國民詩」(編、第一輯・昭和十七年六月二十日、第二輯・十八年二

月二十日第一書房)、<sup>同</sup>「露西亞文學手帖」(昭和十八年十月十五日生

活社「生活選書」)。(再刊、二十二年二月)「十九日青磁社」、詩集「豹

紋蝶」(昭和十九年一月十五日大阪・湯川弘文社「新詩叢書」)、<sup>同</sup>少



國民のための大東亞戰論詩―北原白秋氏の捧ぐ』（合著・與田澤一編、昭和十九年九月、二十五日國民圖書刊行會）、『長塚節歌集』（編、昭和二十一年十月、二十日鎌倉書房）、『左千夫の手紙』（編、昭和二十一年十一月十日八雲書店）、『若き子エーホフ』（昭和二十二年九月二十日大阪・カホリ書房）、『ドストエフスキイ』（昭和二十二年十月十日京都・世界文學社）、『詩集 水宿』（野田幸太郎編、昭和三十一年八月、二十日中山富子事務所）、『澳門記』（昭和四十一年五月二十日中山富子事務所、東京出版センター）等。

